

検査部にて臨床検査を受けた方へ

【研究課題】

スペックルトラッキング法による心収縮異常の検出(審査番号 1954)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院検査部

研究責任者 検査部講師 大門雅夫

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2008年1月～2023年1月

【対象となる方】

2008年1月15日～2023年1月23日の間に当院で診療又は健診目的に心エコー検査を受けた患者さん。

【研究の意義】

従来の心エコー検査では、心筋の運動異常の判断は、術者の技量や経験によるところが大きかったため、主観的な評価であるという欠点がありました。近年開発された心筋スペックルトラッキング法は、心筋内の無数の点をパターン認識し、その移動を心筋の拡張期から収縮期まで追跡することができます。この技術を使用して、心エコー検査画像を解析することで、心筋局所の収縮程度をより客観的かつ定量的に測定することが期待されています。

【研究の目的】

心収縮異常の診断におけるスペックルトラッキング法の有用性を検討することです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療および健診で実施された心エコー検査画像(経胸壁心エコー検査、負荷心エコー検査、経食道心エコー検査)を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの心エコー検査画像は、解析する前に氏名・ID・生年月日の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、電子ロックで保護された検査部心エコー室において大門雅夫(管理責任者)が、パスワードロックされたスペックルトラッキング解析用パソコンで厳重に保管いたします。連結対応表は大門雅夫(管理責任者)が別室の鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたに

お知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院検査部大門雅夫寄付金(702-32)から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2017年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院検査部 講師 大門雅夫

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3531-5883（内線 34180） FAX：03-5800-9018